

- 3.それは、あなたの背中を押し付けていた。
- 4.またわれは、あなたの名声を高めたではないか。
- 5.本当に困難と共に、安楽はあり、
- 6.本当に困難と共に、安楽はある。
- 7.それで（当面の務めから）楽になったら、更に労苦して、
- 8.（只一筋に）あなたの主に傾倒するがいい。

SURA 95.無花果章〔アツ・ティーン〕

慈悲あまねく慈愛深きアッラーの御名において。

- 1.無花果とオリーブにおいて、
- 2.シナイ山において、
- 3.また平安なこの町において（誓う）。
- 4.本当にわれは、人間を最も美しい姿に創った。
- 5.それからわれは、かれを最も低く下げた。
- 6.信仰して善行に動しむ者は別である。かれらに対しては果てしない報奨があろう。
- 7.なぜそれでも、おまえは宗教（真実）を否定するのか。
- 8.アッラーは、最も優れた審判者ではないか。

SURA 96.凝血章〔アル・アラク〕

慈悲あまねく慈愛深きアッラーの御名において。

- 1.読め、「創造なされる御方、あなたの主の御名において。
- 2.一凝血から、人間を創られた。」
- 3.読め、「あなたの主は、最高の尊貴であられ、
- 4.筆によって（書くことを）教えられた御方。
- 5.人間に未知なることを教えられた御方である。」
- 6.いや、人間は本当に法外で、
- 7.自分で何も足りないところはないと考えている。
- 8.本当にあなたの主に（凡てのものは）帰されるのである。
- 9.あなたは、阻止する者を見たか、

- 10.一人のしもべ（ムハンマド）が、礼拝を捧げる時に。
- 11.あなたは、かれ（阻止する者）が、（正しい道）に導かれていると思うのか。
- 12.敬神を勧めているか、
- 13.（真理を）嘘であるとして背を向けたと思うのか。
- 14.かれは、アッラーが見ておられることを知らないのか。
- 15.断じてそうではない。もしかれが止まないならば、われは前髪でかれを捕えるであろう、
- 16.嘘付きで、罪深い前髪を。
- 17.そしてかれの（救助のために）一味を召集させなさい。
- 18.われは看守（の天使）を召集するであろう。
- 19.断じてそうあるべきではない。あなたはかれに従ってはならない。一途にサジダして（主に）近付け。〔サジダ〕

SURA 97.・いつ章〔アル・カドル〕

慈悲あまねく慈愛深きアッラーの御名において。

- 1.本当にわれは、・いつの夜に、この（クルアーン）を下した。
- 2.・いつの夜が何であるかを、あなたに理解させるものは何か。
- 3.・いつの夜は、千月よりも優る。
- 4.（その夜）天使たちと聖霊は、主の許しのもとに、凡ての神命を(斉?)して下る。
- 5.暁の明けるまで、（それは）平安である。

SURA 98.明証章〔アル・バイイナ〕

慈悲あまねく慈愛深きアッラーの御名において。

- 1.啓典の民の中（真理を）拒否した者も多神教徒も、かれらに明証が来るまで、（道から）離れようとしなかった。
- 2.またアッラーからの使徒が、純聖な書巻を、読んで聞かせるまでは。
- 3.その中には、不滅の正しい記録（掟）がある。
- 4.啓典を授かっている者たちが、分派したのは、明証がかれらに来てから後のことであった。
- 5.かれらの命じられたことは、只アッラーに仕え、かれに信心の誠を尽し、純正に服従、帰依して、礼拝の務めを守り、定め喜捨をしなさいと、言うだけのことであった。これこそ真正の教えである。